




プログラム名		草むらのヒーロー ～くずってすごい～						
対象年齢		年長（5～6歳）						
ねらい	メッセージ	五感を通じて植物に親しもう。身近な野原にも面白い植物があり、みんなで遊ぶことができることに気付こう						
	発見・体験できること	<ul style="list-style-type: none"> ・五感を通して植物とふれあう ・身近な自然物で遊ぶ楽しさ 						
参加者のめやす		幼児 20人 / 支援者 4人						
実施時間		30分						
フィールド								
		森・社寺林公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期								
自然を感じるためのヒント							  	
時間		活動			配慮・アドバイス アレンジ			
準備		袋の中にくずを入れておく			事前にくずのつるを適当な長さ（1～2本）に切り、袋に入れておきます。			
3分		グループで集まり全体で話を聞く			話が聞けるようにグループごとに並びます。			
5分		中身が見えない袋の口から、手で触ったりにおいをかいだりして、中身が何であるかを考える			子ども達がわくわくどきどきする思いを持ちながら、袋の中の植物を触るよう、支援者は話を盛り上げていきます。 子ども達の発見や思いを受け止め、グループの友達に伝えていきます。			
								
		におって、さわって、何でしょう						
7分		袋の中身と同じものを見つけに行く 一番長いものを探そう			つるが切れないように気をつけて、長いものを探します。 つるは土の所からでていることに気づかせるように、各グループに支援者が見守ったり、アドバイスしたりします。 他の植物と同じように、土から伸び、水を吸ってどんどん伸びていく植物であることを伝えます。 いろんな長さのつるがあることを視覚をとおして知らせていきます。			
								
		長さ比べをする						

時 間	活 動	配慮・アドバイス アレンジ
7分	<p>くずのつるを使って、どんなことをして遊びたいか、グループで考える</p> <p>グループごとに決めた遊びをする</p> 	<p>子ども達の思いを、各グループの支援者が見守りながら、時にはアドバイスをしていき、グループで遊びを一つ決めていきます。</p> <p>遊びが盛り上がるよう、支援者も一緒に楽しみます。</p> <p>危険な行動が見られたときには、その都度注意をします。</p> <p>いろいろな遊びがあることを伝え、「また遊びたいな」という思いが持てるようにします。</p>
5分	<p>それぞれのグループの遊びを紹介する</p> 	
3分	<p>葛湯を飲む</p>	<p>遊んだくずの根っこが食べたり飲んだりできることを知らせ、人の生活との関わりを考えます。</p> <p>くずのつるを園に持ち帰り、枯れていく様子を観察しましょう。</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>年少：くずのつるを使い、引っ張り合い、飛ぶ、電車ごっこ、へび遊び等をしてみましょう。</p> <p>年中：袋に入れたくずをさわったり、においをかいたりしてみましょう。</p> <p>：つるをしっぽに見立てたしっぽ取り、電車ごっこやヒーロー遊びをしましょう。</p> <p>：つるとつるを結んで長いくずを作りましょう。</p> <p>：ふだんしている遊びをくずでやってみましょう。</p> <p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>くずのつるを使ってリースを作りましょう。</p> <p>くずのレシピを作って保護者の方に知らせ、家庭で作りましょう。</p> <p>家の近くでくずを見つけに行きましょう。</p> <p>くずを園に持ち帰り、つるを使って遊んだり、ウサギの餌にしましょう。</p>		
<p>準備物・教材等</p>	<p>中が見えない袋（4枚）</p> <p>葛湯、コップ</p>	

